

再生プラスチックのマッチングアプリ本格実証開始 試験利用事業者を募集 SIP第3期「サーキュラーエコノミーシステムの構築」

株式会社三菱総合研究所(代表取締役社長:藪田健二、以下 MRI)は、2023 年度から、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」の研究開発プロジェクト「再生プラスチックのマッチングツールの開発及び活用実証」を進めています。このたび2024年度事業として、さらなるマッチング拡大を目的に、事業者数を拡大した実証事業を実施し、本アプリを試験利用する事業者を募集します。

1. 背景

気候変動対応や循環経済の実現には、プラスチックの資源循環の確立が不可欠ですが、日本の再生プラスチック市場は未成熟です。MRIは、再生プラスチックの供給事業者(リサイクル事業者等)と利用事業者(製品メーカー等)の情報共有の円滑化による市場創出を目指し、2021 年度から再生プラスチックの需要と供給のマッチングを促すツールを検討し、簡易実証を実施してきました。

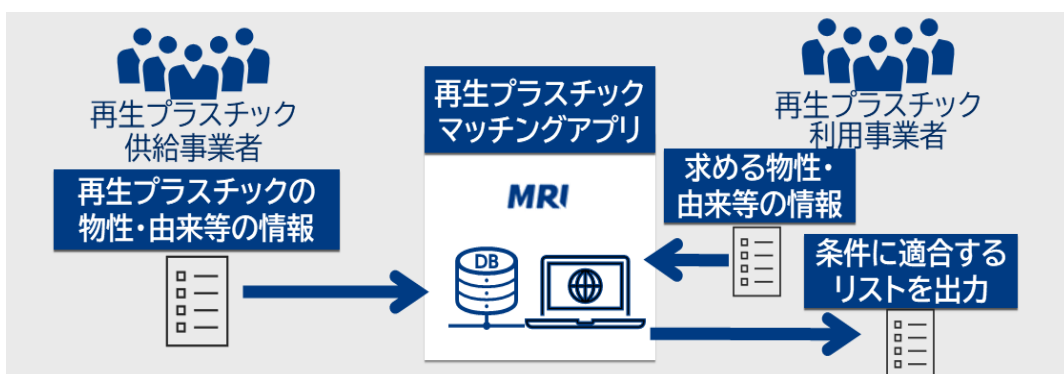
2023 年度からは、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」の研究機関の一つに採択され(最長5年間を予定)、本格的な実証事業を遂行しています。

2. 本アプリの概要と2023年度実証の成果

(1)本アプリの概要

本アプリは、再生プラスチックの供給事業者と利用事業者間のマッチングの橋渡しを行います。供給事業者から提供された再生プラスチックに関する情報をアプリに登録し、利用事業者が希望条件を入力することで、需要と供給が一致した再生プラスチックを探せます。本アプリ内のチャットにて取引に向けたやり取りも実施できます。

図 本アプリの概要



三菱総合研究所作成

(2)2023 年度実証の成果

2023 年度実証では、再生プラスチック供給事業者 6 社および再生プラスチック利用事業者 6 社による本アプリの試験利用を通じた事業者の要望把握やデータ収集に基づき、本アプリの改善を行いました。その結果、マッチングが成立し、取引に向けた事業者間の初期面談を実施するなど、実現可能性が確認されました。

3. 本アプリの試験利用事業者の拡大に向けた事業者の募集

2024 年度は、さらなるマッチング精度やユーザビリティ向上を目的として、本アプリの試験利用事業者数を拡大した実証を 9 月頃より実施する予定であり、このたび参加事業者を募集します。

【実証内容】

- ◇ 拡大実証期間:2024 年 9 月～2025 年 3 月(最長で 2028 年 3 月まで)
- ◇ 対象:再生プラスチック供給事業者、再生プラスチック利用事業者
- ◇ 実施事項:

再生プラスチック供給事業者	<ul style="list-style-type: none">• アプリに再生プラスチックの情報を登録• アプリ上での利用事業者からの問い合わせに対応
再生プラスチック利用事業者	<ul style="list-style-type: none">• アプリに希望条件を入力し再生プラスチックを検索• 検索された再生プラスチックの利用可能性を検討

【本アプリ利用のメリット】

再生プラスチック供給事業者	<ul style="list-style-type: none">• 再生プラスチックの利用を検討している事業者に対して、自社製品を直接アピールする機会を得られる。• 再生プラスチック利用事業者が必要としている情報や物性データが明確になることで、再生プラスチック利用事業者へのアプローチを効果的に行うことが可能になる。
再生プラスチック利用事業者	<ul style="list-style-type: none">• 希望条件に近い再生プラスチックを見いだすことが可能になる。• 今後ますます需要が増加し、調達が困難になると見込まれる再生プラスチック確保の一助になる。

【応募方法・問い合わせ】

以下の問い合わせ先にメールでご連絡ください。試験利用の条件や利用方法等の詳細についてご説明の機会を設けます。なお、参加事業者は随時募集しています。

エネルギー・サステナビリティ事業本部 齋藤、政池、新井
メール:sip_plastic@ml.mri.co.jp

4. 今後の予定

MRIは、プラスチック資源のサプライチェーンにかかわる企業や、研究機関、政府機関等と連携して、このたびの研究開発プロジェクトを実施しています。

本アプリの研究開発を核として、再生プラスチック市場を拡大する仕掛け(トレーサビリティ、環境価値の見

える化等)を備えたプラスチック資源循環プラットフォームを創出します。また、プラスチック資源循環利用量の拡大を図り、プラスチック循環経済の早期実現を目指します。

参考資料

- [独立行政法人環境再生保全機構 戦略的イノベーション創造プログラム\(SIP\)第3期課題「サーキュラーエコノミーシステムの構築」における研究開発責任者の決定について](#)
- [テクノロジーと協調で拓くわが国の循環経済 -プラスチックと蓄電池の資源循環未来像-](#) (ニュースリリース 2023.7.5)
- [プラスチック資源循環促進法と循環実現への課題 -経済合理的な循環実現にはプラスチックの需給マッチングが鍵-](#) (環境・エネルギートピックス 2022.3.28)
- [再生プラスチックの需給マッチングアプリの開発・実証で市場拡大へ SIP 第3期「サーキュラーエコノミーシステムの構築」に採択 | 三菱総合研究所\(MRI\)](#) (ニュースリリース 2023.8.28)

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

エネルギー・サステナビリティ事業本部 齋藤、政池、新井
メール:sip_plastic@ml.mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

グループ広報部
メール:media@mri.co.jp